

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団	
施 設 名	北九州市立響ホール	
助成対象活動名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	27,094	(千円)
公演事業	21,270	(千円)
人材養成事業	403	(千円)
普及啓発事業	5,421	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	実験的音楽空間 ～大学生と創る新たな表現活動～	ワークショップ10～1月 本公演2月8日	大学生や市民とアーティスト（アンサンブル・ノット、セラ・グラフィカ）が、ワークショップ等を重ね、まちを題材にした舞台作品を創作。	目標値	374
		響ホール		実績値	185
2	創作オペレッタ「こうもり」～響ホールフェスティバル～	6月24日（日）	オペレッタ「こうもり」を劇作家の泊篤志が原作に忠実に、そしてオペレッタ独特の滑稽さを加味し、現代版「こうもり」を創作。	目標値	395
		響ホール		実績値	401
3	リサイタル・シリーズ～アーティスト・イン・レジデンス～	公演日6/9、9/8、12/1、1/26、2/16	石坂団十郎・小菅優、川久保賜紀・遠藤真理・三浦友理枝、南紫音、松田理奈・新倉瞳・佐藤卓史、金子三勇士	目標値	2,025
		響ホール		実績値	1,545
4	国内プロオーケストラメンバーによるアンサンブルシリーズ	訪問コンサート1～3月 本公演3月9日（土）	瀧村依里・矢島千愛・山本直輝・武本規矩也・入江一雄によるピアノ五重奏、シューベルト「ます」のアンサンブルコンサート	目標値	374
		響ホール		実績値	478
5	0歳からの親子で楽しむクラシックコンサート	訪問コンサート10月 本公演12月22日	新居由佳梨、高見信行ほか。本格的な楽曲や馴染みのある曲で、大人から子どもまで楽しめるプログラムを構成。	目標値	528
		響ホール		実績値	696
6	2018北九州国際音楽祭 公演事業 プロデュース企画①（2公演）	10月22日、11月2日	小森輝彦、西山まりえによる各会場でのサロンコンサート。音楽のみならず美術や建築の魅力とともに楽しめるよう企画。	目標値	234
		北九州市立美術館本館 西日本工業倶楽部		実績値	160
7	2018北九州国際音楽祭 公演事業 プロデュース企画②（3公演）	10月13日、11月10日、11月23日	10/13竹澤恭子・原田禎夫・萩原麻未、11/10ミシェル・ダルベルト、11/23篠崎史紀・小山実稚恵	目標値	1,500
		響ホール		実績値	1,473
8	2018北九州国際音楽祭 公演事業 招聘企画（2公演）	10月18日、11月18日	10/18チック・コリア、11/18サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団 庄司紗矢香	目標値	1,930
		響ホール アルモニーク北九州ソレイユホール		実績値	1,668
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	7,360
				実績値	6,606

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アーツスタッフ人材育成講座	5/10～11、7/21～22、9/11	①顧客満足、知的財産権、広報宣伝戦略 ②レセプションist養成 ③カスタマーサポート(車椅子)	目標値	210
		響ホール		実績値	126
2	小・中学校合唱講習会	7月24～26日	子どもたちの合唱技術の向上と教員の合唱指導力の向上のため、講師を招聘して講習会を実施	目標値	300
		響ホール		実績値	911
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	510
				実績値	1,037

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ワンコイン・シリーズ ～アーティスト・イン・レジデンス～	5/18、7/20、8/8、10/24、1/9	川越塔子+細川智美、松本蘭+村松亜紀、浜まゆみ+新居由佳梨、Dual KOTO×KOTO、岩崎洵奈	目標値	1,920
		響ホール		実績値	1,276
2	地域訪問コンサート ～アーティスト・イン・レジデンス～	6月～3月 計34回	リサイタル・シリーズやワンコイン・シリーズ出演者が本公演前に訪問コンサートを実施	目標値	1,500
		市民センター等		実績値	1,968
3	YAHATA MUSIC PROJECT ～音楽でつながる人とまち～	通年	JICA九州、商店街、学校、病院、図書館、企業等とホールが連携し、地域の課題解決や地域資源の再発見に向けて取り組む	目標値	1,300
		響ホール		実績値	1,619
4	2018北九州国際音楽祭 教育プログラム(2事業)	11月19日	音楽祭オリジナルオケのメンバーが木管アンサンブルを編成し、小学校と幼稚園で訪問コンサートを実施	目標値	600
		市内小学校及び幼稚園		実績値	1,303
5	2018北九州国際音楽祭 特別プログラム(6事業)	9/1、8/10・8/16・10/23・11/26、8/12、11/18、11/19	公演事業を補完するものとして、聴きどころ講座や高齢者施設訪問コンサート、子ども対象の夏休みイベントなどを実施	目標値	1,960
		響ホール		実績値	888
6	多言語対応	7月～1月	大学生×JICA九州×民間企業×響ホールで多言語化に取り組み、会場アナウンスやガイドマップの作成などを実施	目標値	
		響ホール		実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	7,280
				実績値	7,054

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

社会的役割

地域の一員として「人」と向き合い「人」とともに新しい価値の創造と発信を行う。

地域の特性

当ホールのある八幡東区は高齢化率市内第1位であるが、当ホールはJICA九州や九州国際大学に隣接する国際交流エリアに位置し、多様な交流人口が生まれる可能性を持つ地域でもある。

音楽事業に対するニーズ

創造性の高い公演、海外オーケストラや世界的アーティストの公演、クラシックに馴染みがなくとも聴きやすい公演、未就学児入場可能な公演、子どもたちの育成、多くの人が音楽に親しむ機会の増加

公演事業では、オリジナル作品創作や国内外のトップアーティスト公演など、通年で多岐にわたるラインナップを組み、人材養成事業では、小・中学校合唱講習会とアーツスタッフ養成講座を開催。

普及啓発事業では、観客育成、地域との連携・協働などを目標に掲げ、訪問コンサート等により、多くの方に音楽を届けた。

いずれの事業もホールの社会的役割や地域特性に基づいた組み立てを行い、概ね当初予定どおりに事業を遂行することができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

文化的意義

公演事業：作品創作や国内外のトップアーティスト招聘

人材養成事業：地域の文化発展に有用な専門人材の養成

普及啓発事業：ワンコイン・コンサート等での新たな聴衆の獲得や、各種講座による音楽に触れる機会の提供。

社会的意義

公演事業：市域外からの来場や大学生連携事業による多世代間の交流

人材養成事業：音楽を通じた子どもたちの育成

普及啓発事業：公共ホールが地域コミュニティの中で果たす役割やその可能性を広げる活動が可能。

経済的意義

興行的には厳しい芸術性の高い作品創作や鑑賞機会の提供

チケット価格の安価な設定

無料の訪問コンサートの実施等

市域外からの来場による地元商業施設への経済効果も発生

いずれもホール単体の事業費では事業の規模や質の維持が難しく、助成に値する意義が継続して認められる。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

公演事業

【目標】オリジナル作品創造による北九州ブランドのPR、芸術性の高い公演鑑賞機会の提供、若者が芸術文化に触れる機会の促進、誰もが安心して来場できる環境づくり、公演鑑賞に伴う消費行動増加によるまちのにぎわいづくりへの貢献

創作オペレッタやオリジナルオーケストラ公演等により高い観客満足度を得られ、創作オペレッタは昨年度に引き続き他館で再演された。市域外からの来場者は近年30%台で推移し、芸術性の高い公演へのニーズに応えるとともに、ジャズなどクラシック以外の公演によりホールを初めて訪れる層の増加にもつながった。近隣大学との連携事業や、バリアフリー対応研修を実施したほか、英語の場内アナウンス開始やマナーシートのリニューアルに取り組んだ。来場者への地元グルメガイド配布により周辺店の利用増加につながっている。

人材養成事業

【目標】音楽を通じた子どもたちの人材育成、アーツスタッフ育成による文化の発展への貢献

小中学校合唱講習会を実施し、子どもたちの合唱への意欲や向上心を喚起した。また、安全管理やバリアフリーなどの管理運営の基本的事項から、知的財産権や広報戦略など事業企画に係る事項まで様々な分野の講座を実施した。

幅広い層を対象にした人材養成により、地域の文化発展に貢献した。

普及啓発事業

【目標】響ホールをより身近に感じる人の割合を増やす、クラシック音楽に興味・関心を持つ観客を育成し音楽文化の振興を図る、誰もが安心して来場できる環境づくり、ホールへの来場が難しい方にも音楽文化を届ける、地域との連携・協働事業を通じて、ともにまちを創る仲間づくりを行う

市民センターや小学校など年間30回を超える地域訪問コンサートや、障害者就労支援施設や高齢者施設での訪問コンサートを実施し、地域の多くの方に生の音楽に触れる機会を提供することができた。ワンコインコンサートはリピーターも多く、音楽ファンの裾野拡大につながっている。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

公演事業・普及啓発事業

響ホール リサイタル・シリーズでは、本公演前に地域訪問コンサート（4～5回）やアナリーゼ・ワークショップを実施。開催時期・回数とも当初の計画どおりに実施することができた。実験的音楽空間 ～大学生と創る新たな表現活動～ では、本番の3ヶ月前から大学生や地域住民がワークショップに参加し、アーティストとともに作品創作に取り組んだ。

いずれも、単発の公演にとどまらず一定期間地域に滞在したり、複数回地域を訪れたりして行う文化芸術活動を目指し、当初の計画に沿った適切な期間で事業を行うことができた。

国内プロオーケストラメンバーによるアンサンブルシリーズでは、クラシック音楽に馴染みがない層により親しみを感じてもらうため、アーティストと協議のうえ、当初の計画を変更し地域訪問コンサートの回数を増やし、より深く楽曲を楽しんでもらうためアナリーゼを組み込んだコンサートを実施するなど当初計画の事業費の範囲内で変更を行い、より事業内容を充実させることができた。

国際音楽祭プロデュース企画では、本公演のほか出演アーティストによる関連企画（中学生の鑑賞教室、高齢者施設や幼稚園訪問コンサート等）を当初の計画どおり実施し、国際音楽祭招聘企画においても、内容、予算規模のいずれも概ね当初の予定どおり事業を行った。

公演事業及び普及啓発事業では、上記を含む全14事業を実施し、全体として事業規模や経費の大幅な変更もなく概ね当初計画どおりに遂行し、アウトプットに対して事業期間、事業費とも適切であった。

人材養成事業

アーツスタッフ人材養成講座と小・中学校合唱講習会を実施。レセプション講座において、より安全管理意識を高めるためOJT研修を追加したことで事業が増加したものの、より事業趣旨に沿った講座を実施することができた。その他事業については概ね計画どおりに遂行し、アウトプットに対して事業期間、事業費とも適切であった。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

響ホールは1993年に開館し、昨年、開館25周年を迎えた。席数720席のシューボックス型ホールで、残響時間約1.8秒（満席時）と日本屈指の音響を誇る。

当ホールのある八幡東区は近代製鉄発祥の地として日本の産業の近代化を支え、ホール内装には、地元企業に特注したステージを囲む波状のガラスや煉瓦が使用されている。ホールの響きは、その構造や材質のほか、風土や刻まれた音によって作られるとも言われるとおり、市内唯一の音楽専用ホールとして、年月をかけてここにしかない響きや空間が育まれてきた。

クラシック音楽、特に室内楽や声楽に適したホールとして、開館当初から多くの公演を重ね、北九州国際音楽祭の主会場としても使用されている。

また、近年では創作オペレッタの上演や、ダンス×音楽のジャンル融合的な企画にも積極的に取り組み、実演芸術の可能性の広がりを見せている。

当ホールでは、「地域の一員として『人』と向き合い『人』とともに新しい価値の創造と発信を行う」というミッションを掲げ、その達成を目指すべく「開かれた音楽堂」「出会いの音楽堂」「地域と向き合う音楽堂」「安全・安心な音楽堂」の4つの運営理念（※）に基づき、各事業を実施した。

【運営理念】

○開かれた音楽堂

あらゆる人に開かれた運営、幅広い年齢層に優れた芸術文化を体験できる機会を提供

○出会いの音楽堂

多彩な芸術文化との出会いを提供、芸術文化を通して人と人の出会いや交流を図る

○地域と向き合う音楽堂

芸術文化を地域と一緒に育む、積極的に地域の活性化や地域の文化振興に取り組む

○安全安心な音楽堂

ハード・ソフトの両面において常に万全の体制で取り組む、徹底した危機管理意識

公演事業では、0歳から入場できるクラシックコンサート、地域訪問コンサートと本公演をセットにした滞在型事業、オペレッタ創作や国際音楽祭での国内外のトップアーティスト公演など、地域で唯一の音楽ホールの特性を生かした上質な鑑賞事業を数多く実施した。

人材養成事業では、芸術文化に携わる者として不可欠な知的財産権や広報宣伝、レセプション等各種講座を、一般公募の参加者も対象に含めて実施し、地域の文化を支える人材の養成に取り組んだ。

普及啓発事業では、ワンコインコンサート等、地域住民が気軽に音楽に触れることができる機会の提供のほか、地元企業や近隣大学との連携事業に長期的に取り組む、地域とともにあることを強く意識した事業展開を行った。

各事業を通じて、地域の文化拠点としての機能を大きく発揮することが可能となった。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

響ホールでは、音楽事業やホールに対する期待、ニーズの把握のため、市政モニターアンケートや来場者アンケート等を実施している。

北九州国際音楽祭事業では、新たな聴衆の開拓や芸術・文化による地域の発展等のため、市政モニターアンケートを実施。得られた結果をもとに5つの柱を定め、公演だけでなく、人材育成や普及啓発の観点を含む全体スキームにより企画・運営に取り組んでいる。来場者アンケートでは、複数回音楽祭を訪れた方が8割近く、また、音楽祭をまた訪れたいと思う割合も98%と非常に高い満足度を得ている。

■北九州国際音楽祭 5つの柱

- ① 北九州プロデュース企画による創造と発信
- ② 海外オーケストラを聴ける機会の提供
- ③ 質の高いクラシック音楽の鑑賞機会拡大
- ④ 未来を担う子どもたちに音楽を
- ⑤ 広く市民が音楽に親しむ機会を

また、響ホール事業でも、公演アンケートによる要望等をふまえ様々な公演を企画。未就学児も入場可能なコンサート求める意見に応えた0歳からの親子で楽しむクラシックコンサートでは、チケット販売率が8割を超えるなど、例年好評を得ている。クラシックは敷居が高いなどの声に応えたワンコイン・コンサートは固定ファンも多く、ホールの認知度向上につながっている。

その他、多彩な事業展開により、地域の実演芸術の振興や文化芸術の発展に寄与した。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

（公財）北九州市芸術文化振興財団は、響ホール及び北九州芸術劇場の2拠点において、劇場・音楽堂の管理運営を行っている。

北九州芸術劇場は、平成30年度に文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」（5年間）に採択されており、響ホールの「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」と合わせ、同一市内に両事業に採択された施設を有するのは、九州では北九州市のみである。

当財団は全体で約100人の職員が在籍し、事務職員は未経験者も含めて広く公募し、選考試験によって適性や能力を判断して定期採用を実施。OJTにより経験を積み、一定の実務経験を要件として選考された職員をチーフとして登用し、実務の要として人材育成を進めている。また、北九州芸術劇場との人事交流、研修の実施等による専門人材の育成にも取り組んでいる。

響ホールでは、公演事業・人材養成事業・普及啓発事業の各事業について、以下の事業コンセプトに沿って実施した。

創 育 聴 支 える：音楽文化の創造と発信
つ：地域の人々とともに育つ
く：暮らしを彩る多彩な音楽公演
え る：市民の音楽活動の支援

特に公演事業においては、音楽専用ホールである響ホールの特性と、劇場の有する舞台技術や公演ノウハウなどをともに生かした企画に取り組むなど、2拠点を有する財団としての活動に更なる発展が見られた。

その他、人材養成事業や普及啓発事業においても、地域の大学や公的機関と連携した事業運営により、地域に根差した継続的な活動を行った。

また、資金の確保について、これまでも各種助成金を含む外部資金の獲得に努めてきたが、公演事業・普及啓発事業におけるオリジナル作品創作や良質な鑑賞機会の提供の増加、クラシック音楽ファン層の裾野の拡大が、将来的なチケット収入の増加にもつながるものと考えている。

引き続き、地域特性やニーズに沿った事業計画を立て、成果を検証しながら、地域に根差した音楽堂としての機能強化に取り組みたい。